

障害をこえて—僕の青春



奈良県

山根 昇

—こどもの時—

ぼくはようちえんの時はしかにかかって病院に入院しました。20日間もしき不明だったそうです。頭のけんさをしてもらいました。ことばがうまく言えなくて病気をしていました。

小学校の時本がよめなくて怒られた。音楽の時間に歌をうたったのは楽しかった。ふえはにがてだった。プールもにがてだったけれどがんばりました。給食でいろんな食べ物を作ってもらっておいしかった。むしばがあって、はを抜いたいやな思いもあります。ソフトボールの試合に出て負けたけれどおうえんしてもらってよかった。友達といっしょにいろんなことをして遊んだ。かくれんぼとかドッチボールもみ

んなと楽しくやりました。

池田の団地の家の中でプラモデルをしたりお父さんと一緒にキャッチボールをしたのが楽しかった。ぼくと弟の浩とお父さんとお母さんと一緒にいろんな所へ行きました。万博や遊園地で乗り物に乗りました。夏の高校野球も見に行きました。米子へ遊びに行つて海でおよいだりすきやきをして食べました。そして民宿に泊まりました。雨が多く降つて雷がなっていました。そこから海を見ていました。阪急まで行つていろんな物を見たり楽しく買い物をして4人で食事をしてよかった。浩と一緒に野球のバッターを買いに行きました。一緒にキャッチボールをしてすごした日は思い出になります。

— 中学校の野球部 —

家は池田の団地から樟葉^{かや}の団地へ引越しました。ぼくは男山第2中学の1年生になつて野球部にはいりました。グラウンドのせいびや石ひろいは少ししんどかった。グラウンドを何回も走つたり雨の降つた日は素振りとか腹筋運動腕立て伏せもやりました。1年生の時は球拾いで、練習の時うまくできた時は楽しかったです。ユニホームがどろどろになつて家に帰りました。仲間のみんなは良い人でうれしかったです。1年生の時は郡大会で2試合をして負けました。とてもくやしかった。1年生と2年生で苦しい練習をしました。とてもしんどく感じました。冬は走り込みを重点的にし5キロ位走つた。2年生の時は、郡大会で優勝して山城大会で負けてしまいました。3年生の時は郡大会で勝ち山城大会で優勝できました。全員で記念写真をとりました。大きくパネルにもらつて今でもぼくの部屋にかけています。ぼくの宝物です。3年間野球部のおかげでぼくはだいふ鍛えられました。先生や友達に感謝しています。そして今でも野球

が大好きです。今家ではお父さんとお母さんが阪神ファンでぼくは巨人です。

―桃山養護学校―

ぼくは、中学校を卒業して桃山養護学校へ行きました。障害の重い人や軽い人がいて小学部、中学部、高等部と3つに分かれていました。活動もいろいろありました。どんな仕事ができるか考えました。キャンプにも行って楽しかったです。テントの立て方や料理でカレーを作っておいしく食べられたことをありがたく思っています。3年間で1番楽しかったことは仲間とよく話をしたことや野球ができたことです。ぼくはショウトを守っていました。打つほうは5番ぐらいでした。体育館でよく活動しました。修学旅行では楽しい思い出がいっぱいあります。いろんな先生にお世話になってとても感謝しています。ぼくはあまり勉強はできなかったけれどよくがんばれたほうだとおもいます。

―ぼくの本当のお母さん―

とても悲しいことがありました。ぼくが養護学校の1年目の9月にお母さんは重い病気になって入院しました。米子からおじいちゃんが出て来てぼくたちのめんどうをみてくれました。浩はその時小学校6年生でした。お父さんは毎日会社と病院へ行きました。お母さんは3回も病院をかわって東京にも入院してぼくたちはその間さびしかったです。そしてぼくが3年生の3月にお母さんは亡くなりました。ぼくも浩も泣きました。お母さんはがんの病気だったのです。ぼくが小さい時病気のころいろんなめんどうを見てくれて本当にありがとうございます。今感じることは今まで元気で過ごせてありがたいことです。17年間お世話になってありがとうございます。おいしいお弁当も作ってくれてありがとうございます。

―初めての仕事―

ぼくは養護学校から就職の話がありT機材へ就職しました。樟葉から電車で淀に行ってそこからバスに乗って行きました。仕事は建築現場の足場の鉄のパイプを運んだり汚れたパイプをきれいにすることでした。運ぶのはとても重くて辛く感じました。汚れをとるのがうまくできなかった。草刈りもやらされてしんどかった。暑くなつて仕事はかなりきつくいつもしんどかった。仕事の服は毎日汚れておじいちゃん洗濯機で洗つてもたいへんだといっていました。仕事場の仲間とけんかをして石を投げられました。お父さんはその社長に呼ばれてぼくは8月にそこをやめました。そのころぼくはお母さんが死んだばかりで体が弱くて発作もよくおこしていました。もうすこし体力をつけておくべきだったと思います。あいさつとかことばづかいも注意しなければいけなかったと思います。T機材はとても辛い思い出が多かった。

―次の仕事…金紙工場―

お父さんは八幡市役所の福祉課へ行つてぼくの次の仕事がみつかりました。Mスリッターです。働いている人は5人か6人ぐらいでぼくの仕事は大きな金紙を荷造りすることでした。10月からバスにのつて30分ぐらいで行けました。はじめ3カ月ぐらいぼくは紙テープがうまくはれなかったのでいつも大將が教えてくれました。4月からお父さんは結婚して新しいお母さんが来ました。おじいちゃんも米子へ帰りました。ぼくは浩と約束したのでお母さんと呼ばずにおばさんと呼んでいました。おばさんは工場にあいさつに来てくれてぼくの仕事も見えていました。ホットケーキがおいしかったので毎朝食べてお弁当も作つてもらつておいしかった。5月になつて工場のおくさんがお母さんと呼びなさいといつてくれました。初め少

しはづかしかったけれどもお母さんと呼べるようになってうれしかったです。仕事はパックのほかに重い荷物を運んだり運送屋さんの手伝いもしました。草ひきとかダンボールのをかたづける仕事は少しいやだったけれどがんばりました。パックの仕事はSちゃんとペアでしていました。待ち時間があったて休める時もあったてよかったです。楽しかった思い出はみんな良い人でした。ときどきコーヒ―と食事に行つて話したり忘年会にも行きました。特にご主人とおくさんも一緒にみんなと旅行に行けて良かったです。10月から家が引越して遠くなり1時間10分位で電車とバスで行きました。仕事が無くなるまで10年間近く行きました。友達もできて楽しかったです。

—新しい家—

2番目のお母さんとおばあちゃんが一生懸命働いたお金で土地を買ってくれました。お父さんは借金をして家を建てました。2階があつておばあちゃんとぼくと浩の部屋は上でした。浩は高校生になって奈良県の高校の寮に入り休みの日だけ帰ってきました。おばあちゃんは教会の神父様のまかないの仕事に行っていました。引越をした次の年は日曜日になるとお父さんやお母さんのお客が来て一緒に食事をしました。ぼくはいろんな人と話すのが楽しくなりました。はじめのころは友達がいなくてさびしかったです。山登りで仲間の人達に会えて良かったです。浩は高校を卒業して家から専門学校へ行っていました。おばあちゃんは家にいて留守番やぼくの世話やぬいものをしてくれました。お父さんが3か月位入院してお母さんは前に働いていた幼稚園へ働きに行きました。浩も卒業して会社へ働きに行きました。浩は2年してから会社をやめました。7月になって浩は京都で働く所が見つかり家を出て行きました。去年ぼくの32才

の誕生日に結婚して今でも京都に住んでいます。夏に赤ちゃんが生まれたのでぼくもお祝いをあげました。お母さんは働いて6年目にひじのほねを折りました。それからやめて家でいろんなことをしています。おばあちゃんは2年前の秋に急に亡くなりました。ぼくは泣きました。おばあちゃんはいつもがんばりやさんで夜おそくまでおきていました。お母さんはおばあちゃんといつも仲良しだったから2カ月位病気になりました。お母さんとおばあちゃんとぼくと3人で花博やあやめ池や生駒山遊園地へ遊びに行きました。海洋博も行きました。奈良公園も行きました。とても楽しかったです。家の2階はどうとうぼくだけになつてさびしかったけれどこのごろなれました。お父さんとぼくは去年の春教会で洗礼を受けて神様のこともになりました。お父さんも長い間会社で働きました。もうすぐ仕事がおしまいといっています。あまりたばこやお酒をのまないようこれからもよく食べて元気でいてください。お父さんとお母さんがいつまでも仲良くしてぼくのめんどうをみてくれますようお祈りをしています。ここにきていろんなことがあったけれどぼくはこの家が大好きです。

—ジョギングと馬拉ソン—

僕は生駒にひっこして1年位たってからお母さんにいわれてジョギングをするようになりました。はじめはぜんぜん走る意欲がなくてだめだった。仕事から帰って走るのはとてもしんどかった。ぼくがいやがってもお母さんは怒って走らされました。ぼくは何回も野球の方がいいといいました。お父さんはいつも無理をせんでええといっていました。お母さんとおばあちゃんは何でもつづけなあかんといつてぼくをはげましてくれました。教会の神父様もそういつてくれました。それでだんだん少しずつ続けられるように

なりました。雨の日は走らなくても良かったのでうれしかったです。一番辛いのは冬です。仕事から帰った後で暗くなっているので走るのはいやだった。おばあちゃんとお母さんになまけたらあかんといって怒られたので、くじけずに走りました。はじめのコースは犬が2匹出てくるようになったので変えました。次のコースははじめだけお母さんが一緒に行ってくれました。時々走っている人に出会いました。そのうち山の仲間の人たちもジョギングをしている人がいました。奈良大仏マラソンに申し込んでいたのに都合がわるくなつてぼくにゆずってくれました。それでぼくは山のリーダの人にお世話になって初めてマラソンの10キロコースに参加して完走出来ました。大ぜいの人走って途中で歩いてる人もいました。坂もあって苦しかったけれど最後までくじけずがんばりました。お母さんもお父さんもおばあちゃんも喜んでいました。体も前より丈夫になって発作もあまりおこらなくなりました。仕事を休むこともなくなりました。他のマラソンも参加して大仏マラソンも続けています。毎日走るようになって10年以上になります。仕事の日には5キロ位で休みの日は約10キロ走っています。マラソン大会に参加して最後まで楽しく走れることを感謝しています。今ではお母さんとおばあちゃんに感謝しています。食べ物もしっかりもらえて元気になっていきます。走ることはまだまだ負けたくありません。体力をつけてよりいっそうがんばれる人間になっていきたいと思っています。神様に走れることを感謝しています。

—山登り・奈良ハイキングクラブ—

お母さんが生駒広報を見て清掃登山に行きなさいと言いました。それは昭和57年6月6日のことでした。お母さんは用事で行けなかったので近所の人をお願いしてお弁当も2人分作ってくれてぼくは連れて行っ

てもらいました。その時初めてたくさんの人とゴミを拾いながら山へ登りました。後でお母さんは生駒市役所で聞いて7月6日（火）の夕方ぼくを連れて郡山にある奈良ハイキングクラブの事務所へ行きました。10人位の人が集まって何か話していました。リーダーの人がこれから一緒に山へ登りましょうといってくれました。お母さんはお願ひしますといっばくのことを頼んでいました。そして良かったと言って喜んで帰りました。ぼくはどうなのか不安だった。8月の日曜日初めて壺坂寺と高取城へハイキングに行きました。駅でハイキングクラブの人がぼくを待っていてくれました。初めての時は緊張してしんどく感じました。晩になってお母さんは心配して待っていました。発作は起こらなくてよかったといって家の人3人がほめてくれました。それから9月も10月もさそってもらって行ったけれど山登りはきつくたくさん歩くのであまり好きではなかってお母さんに野球の方がいいと言っていました。お母さんもおばちゃんも続けて山登りしていたらだんだん楽しくなってくるからがんばりなさいといってくれました。11月から冬の間は行かずに春になって又行くようになりました。山の仲間の人達も友達になって楽しく感じるようになりました。いろんな話をしました。ジョギングをしている人達もいてリーダーの増田さんはこんど一緒にマラソン大会に出ようと言ってくれました。増田さんに連れてもらってマラソン大会で10キロコースをみんなと一緒に完走出来て一番うれしかった。山で一緒に写真をとってもらってたくさんになりました。島村さんに山の道具とかいろいろなことを教えてもらいました。リックサックももらいました。増田さんに言われて山の作文も書くようになりました。お母さんが忙しい時はおばあちゃんに見てもらってからハイキングクラブの事務所へ送りました。山登りでいろんな友達と出会えてうれしく感じます。今度はどんな山

へ行けるかと考えて、毎日自分に負けないよう体力をつけて行きたいです。

—今の仕事…ホテルの掃除—

平成1年9月の途中から今の仕事場へ行きました。面接の時はお母さんと一緒に行きました。ホテルはとてもきれいです。それに近いです。50分位で行けます。給食があつてお昼はいろいろなものが出ます。仲間の人と一緒にとってもおいしく食べられて感謝しています。仕事の時間は7時から4時です。障害者は3人いて掃除の仕事をしています。玄関や階段のてすりはしんちゅうで毎日しんちゅう磨きがあります。初め掃除がへたで上の人からよく怒られました。お母さんはいつも仲間の人と仲良くしなさいと言っています。ぼくは時々まもらないことがありました。Hさんがやめて残念と思います。ホテルでは管理課と宴会とスポーツクラブと竹の家とか働く人がみんな別々に分かれています。ぼくたちの掃除は3人でがんばっています。初めはなにをやってもだめだったけれど少しずつがんばれるようになりました。Tさんがお掃除はえんの下の力持ちと言われました。心をつくすように言われました。自分ではあまり多く出来ないけれど精一杯がんばっていききたいと思います。早く何でもきれいに出来るよう、家の中もきれいに出来るようもっと努力してきれい好きになるよう、心を美しくしたいと思います。みんながよくしてくれて嬉しいです。友達も多く感じます。みんないい人が多いと感じます。今働ける喜びと自分が一生懸命することの喜びで感謝して仕事が出来ます。働けない人のこと思ってもっと今を大事にしていきたいと思っています。まだまだ勉強をしなければだめと思うけれど自分に負けない体力作りをしていつまでも健康でいられる自分になりたいと思います。心がきれいになるようにがんばっていききたいと思います。このごろうれしいこと

がありました。ホテルに野球部が出来ました。約20人位でみんなでユニホームや道具をそろえました。試合はホテルの近くのグラウンドで朝6時から9時位までです。もう3回しました。ぼくの休みは月に7日あってだいたい火曜日ですが野球する日を休みにしてもらっています。9月にソフトボールの試合があった時、ぼくは打つのはへただったけれど守りで高いボールを取れてよかった。ぼくのチームはぼろ負けだったけれど又出来る日を楽しみにがんばります。

—2 番目のお母さん—

お母さんは27年間幼稚園と保育園で働いたといっています。もっと若い時は会社でも働いたそうです。ぼくのためにお父さんと結婚しました。お母さんが来てから家の中が明るくなったと思います。ぼくが一番うれしかったことは、自分で出来ることがふえました。病院に薬をもらいに行くこと、定期を買うこと、花に水をあげること、休みの日は洗濯物を干すことと台所と階段と廊下の掃除です。寒い時ストーブに灯油を入れます。時々買い物もします。甲子園も一人で行けるようになりました。小遣い帳もつけています。カレンダに毎日ジョギングの記録をしています。お母さんはいつもぼくのことよく見ています。言われたこともちゃんと実行しないといつも怒ります。何でも教えてくれます。特に食べ物に気をつけています。玄米あずきご飯はとてもおいしいです。休みの日は一緒にお好み焼きを作ってくれます。おばあちゃんはいつもぼくのぱんつや靴下や服をつくらってくれました。お母さんはあまりしません。その代わり家で親子塾をしたりこどもにピアノやエレクトーンを教えています。目の見えないYさんに聖書を読みに行った。り車椅子の人のボランティアもしています。本が好きで短歌の勉強もしています。花が好きで猫のミータ

ローとチビの世話もしています。よく働くがんばりやさんで心がきれいだと思います。神様が大好きで土曜日の晩はお父さんとぼくと3人で教会のミサに行きます。お母さんは日曜日にもミサに行って教会の活動をしています。お父さんと仲が良いです。ぼくはお母さんのことを尊敬しています。いつも優しくしてくれてありがとうございます。これからも元気でぼくのことをよろしく願います。

—お父さん—

ぼくがはしかの病気で重かった時お母さんをはげまして一生懸命看病したと言っていました。亡くなったお母さんの病気の時もお母さんのために何でもしていました。料理を作るのが得意です。お母さんが出来ない時はお父さんがしています。お父さんは36年間会社で働きました。今の会社はもうすぐ仕事が無くなると言っています。お父さんの好きなことは囲碁とゴルフと英語とすもうと競馬です。仕事をやめたら又一緒にハイキングをしたいです。

* 昇は療育手帳のBです。これまでの本人の人生で主だった時代を書き出してやり、本人に原稿を書かせました。それを見て私が補足を致しまして、本人に原稿用紙に清書させたものです。

—
母

山根

昇

昭和三十五年生まれ 養護学校高等部卒業後
社会人となり現在ホテル従業員として勤務中

奈良県生駒市

選評

これまでの三十三年間の人生で出会った数々の思い出が、たどたどしい筆遣いながら、丹念に、実に素直に描かれています。

楽しく読み進むにつれ、心にしんと響くものがあり、なまじ障害の無い人たちより遙かに純粋な、充実した人生を過ごしておられるように感じられました。(山口 薫)